

第29回

福島港花火大会



8月12日、福島港で夏の恒例行事『第29回福島港花火大会』が盛大に開かれました。

同花火大会は串間市の3大イベントの一つで、くしま活性化委員会が主催。今年は日曜開催という日程にも恵まれ、来場者は例年より多い1万3,000人を数えました（主催者発表）。

今大会は会場を福島港中央に位置する広場から、海を臨める場所へと変更。それに伴い、花火の打ち上げも西側堤防へと移動しました。今回、来場者を最も沸かせたのは水

4,000発の花火が多くのか来場者を魅了しました。

中花火。真上に上げる通常の花火と異なり、海に向かって低く打ち上げる水中花火は水鏡の効果で華やかさを増していました。

特設ステージでは花火の打ち上げに先駆け、各種イベントを開催。むつみ保育園児による太鼓演奏や福島・笠砥小学校などの児童によるバンド演奏に大きな拍手が送られ

ました。また、宮崎大学の学生によるストリートダンスや串間太鼓『神童』による和太鼓も披露され、会場は大いに沸きました。

このほか、会場では地場産品や軽食、キャラクターグッズなどの販売もあり、夏の祭典『花火大会』は大きなにぎわいを見せ、盛会に終わりました。



夏の祭典

